

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	混合ワクチンに係る研究及び品質管理事業		担当部局庁	国立感染症研究所		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	総務部会計課		星野 真	
会計区分	一般会計		施策名	IV34			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計画、 通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	現在、これまでの3種混合ワクチン(ジフテリア・百日咳・破傷風)にポリオを加えた4種混合ワクチン(DPT-IPV)の導入が開始されているところであるが、更に近い将来、組換えB型肝炎ワクチンや不活化A型肝炎ワクチンを混合して使用することも検討されており、更なる混合ワクチンの開発への対応は、当所の役割においては急務である。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	海外で実用化されている多価混合ワクチンを参考に、それぞれワクチン成分に対する力価試験法の検討を行い、現行の動物を用いた力価試験法と動物を用いないELISA等を用いたin vitro試験法との比較して研究開発を行う。特に肝炎ワクチンの場合、混合ワクチンとなった場合は出検数の激増が予想され、力価試験のin vitro試験への移行は必須と考えられる。また、単独ワクチンと混合ワクチン接種の効果を比較検討し、それぞれのワクチン成分の相互緩衝効果を動物実験などにより研究を行い合わせて、副反応に関する研究を行い、既存の混合ワクチンに含まれているアジュバンド成分の新規混合成分への影響には注意が必要と考えられているため、十分な比較検討が必要である。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算の 状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算				11	
		補正予算					
		繰越し等					
	計					11	
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	混合ワクチンの総合的、長期的な基礎的・応用的研究であり、また品質管理の視点から定量的指標の設定は困難である。		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	混合ワクチンの総合的、長期的な基礎的・応用的研究であり、また品質管理の視点から定量的指標の設定は困難である。		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—
単位当たり コスト	—		算出根拠	—			
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	備品費		2	平成25年度新規要求事業			
	消耗品費		5				
	賃金		4				
計		11					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・ 状況・ 予算の 状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国の感染症対策に寄与する事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	感染症法、薬事法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の 流れ、 使途、 費	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	—
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	—
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	—
活動実績・ 成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—
点検結果	平成25年度新規要求事業		
	<p style="text-align: center;">予算監視・効率化チームの所見</p> <p>本事業は、感染症の発生・まん延の防止に資するワクチン品質管理のための経費であり、国民のニーズが高く、優先度の高い事業である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

※平成23年度実績を記

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	ハンセン病研究センター動物棟空調設備等更新工事		担当部局庁	国立感染症研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	総務部会計課		星野 真		
会計区分	一般会計		施策名	—				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ハンセン病研究センターにおける既存の動物棟(第一動物棟:S53年10月、第二動物棟:S39年12月建築)は、老朽化が激しい上、空調設備の不具合から温湿度管理等が不安定となり環境汚染防止対策も十分でない。バイオリスクの観点からも感染症法に則った感染動物実験を行う環境の確保が困難な状況となっており、改善が必要である。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ハンセン病研究センターはハンセン病研究の普及と推進を目的とした日本国内外へのらい菌の供給や国際的標準株となるらい菌株の維持・供給を行っている。これら貴重な資源維持管理のため、法律を遵守した適正な整備を行うことが、国立感染症研究所の責務である。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					95	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	施設の整備に必要な経費であり、定量的な指標は示せない。	成果実績	—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	施設の整備に必要な経費であり、定量的な指標は示せない。	活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—	
		算出根拠	—	—	—	—	—	
単位当たりコスト	—		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	施行庁費		4	平成25年度新規要求事業				
	施設整備費		91					
計		95						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・ 状況・ 予算の 状	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国の感染症対策に寄与する事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の 目・流 れ、 使途、 費	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	—
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	—
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	—
活動 実績、 成果 実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—
点 検 結 果	平成25年度新規要求事業		
予算監視・効率化チームの所見			
		本事業は、本研究所の研究の推進に資するための整備費であり、優先度の高い事業である。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		—	
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

※平成23年度実績を記

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	国立感染症研究所研究用蒸気配管改修事業		担当部局庁	国立感染症研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	総務部会計課		星野 真		
会計区分	一般会計		施策名	—				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	当研究所の蒸気配管においては、経年劣化に加え、東日本大震災以降、蒸気配管の配管結合部や脆弱部分から蒸気漏れによる漏水が庁舎各所で確認されている。現状のままでは研究業務上の問題(意図しない病原体の混入等)のみならず、安全管理上の問題(実験動物の死体の滅菌不良による感染事故等)につながる恐れもあることから早急に改修を行う必要がある。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	当研究所の研究用蒸気配管について、劣化している箇所の改修を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					26	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	設備の整備のための経費であり、定量的な指標は示せない。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	設備の整備のための経費であり、定量的な指標は示せない。		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
			算出根拠	—				
単位当たりコスト	—		算出根拠					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	施設施行庁費		1	平成25年度新規要求事業				
	施設整備費		25					
計		26						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・ 状況・ 予算の 状	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国の感染症対策に寄与する事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の 目・流 れ、 使途、 費	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	—
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	—
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	—
活動実績・ 成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—
点検結果	平成25年度新規要求事業		
	<p style="text-align: center;">予算監視・効率化チームの所見</p> <p>本事業は、本研究所の研究の推進に資するための整備費であり、優先度の高い事業である。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

※平成23年度実績を記

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					



事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・ 状況・ 予算の 状	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国の感染症対策に寄与する事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	感染症法及び労働安全衛生法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の 目・流 れ、 使途、 費	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	—
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	—
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	—
活動 実績、 成果 実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—
点 検 結 果	平成25年度新規要求事業		
	<p style="text-align: center;"><b>予算監視・効率化チームの所見</b></p> <p>本事業は、本研究所の研究の推進に資するための整備費であり、優先度の高い事業である。</p>		
<b>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</b>			
—			
<b>補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</b>			
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

※平成23年度実績を記

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

## 平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	革新的医薬品・医療機器の評価技術の開発研究事業費		担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	総務部会計課		渡邊 裕一		
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計画、 通知等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)</li> <li>・日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定)</li> <li>・医療イノベーション5か年戦略(平成24年6月6日医療イノベーション会議)</li> </ul>				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療・健康関連産業を真に日本の成長産業とし、医療サービスの基盤強化を図り、世界最高水準の医薬品・医療機器を国民へ迅速に提供することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①革新的医薬品・医療機器の評価技術等の開発、②再生医療の早期実用化のための評価技術等の開発、③個別化医療の早期実用化のためのゲノム薬理学等を活用した評価技術等の開発、に係る研究を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	200
		補正予算						
		繰越し等						
		計						200
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	革新的な医薬品・医療機器の創出に寄与する評価技術等の開発研究であり、数値での評価にはなじまないため、定量的な成果目標を設定することはできない。	成果実績	—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	革新的な医薬品・医療機器の創出に寄与する評価技術等の開発研究であり、数値での評価にはなじまないため、定量的な活動指標を設定することはできない。	活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—	
単位当たりコスト	—		算出根拠	—				
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		5	平成25年度新規要求事業				
	職員旅費		1					
	試験研究費		194					
計		200						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	革新的な医薬品・医療機器の実用化を促進し、国民へ迅速に提供することを目的とした研究であるため、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	国として有効性や安全性等を確認するために必要な評価技術等の開発を行う研究であるため、国において実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	—
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	—
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	—
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—
点検結果	平成25年度新規要求事業		
予算監視・効率化チームの所見			
	本事業は、医療イノベーション5カ年戦略の推進に資する研究であり、国民のニーズが高く、優先度の高い事業である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

※平成23年度実績を記

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					